

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

- | | | |
|----|------------|--------|
| 1. | 教育学部 | 教育 1-1 |
| 2. | 教育学研究科 | 教育 2-1 |
| 3. | 連合学校教育学研究科 | 教育 3-1 |

教育学部

I	教育水準	教育 1-2
II	質の向上度	教育 1-4

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、同学部に「教育系」と「教養系」を設け、前者を4課程 28 選修・専攻に改組して教員養成機能の強化を図り、後者を5課程 18 専攻に改組して生涯学習社会における指導的役割を担う人材養成を図るとともに、教員組織も教育組織と研究組織に有効に組織、改善されているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、平成 19 年度から授業アンケートの対象科目を全科目に拡大するとともに、グレード・ポイント・アベレージ(GPA)のガイドラインを作成・運用し、学生の満足度も確実に向上しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、平成 19 年度入学生から新カリキュラムを適用し、教養教育の充実をはじめ、教育実践関連科目の体系化を図るとともに、教養系学生に対するキャリア教育の充実を図っているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、教科外キャリア支援セミナーを開催するとともに、文部科学省新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラムの活用によるキャリア教育支援体制を強化し、また留学プログラムに関しても TOEFL 対策講座を実施しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、授業科目の性格と特性に応じて講義・演習・実技が適切に組み合わせられているとともに、複数回開設されている同一科目の指導内容・シラバスの統一化を図り、また教職に関する特定の科目ではシラバスの共通化も達成しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、標準履修登録単位数を22単位に設定し、ゆとりある学習を進めるとともに、「学習の手引き」を改訂・強化して選修・専攻ごとの4年間の標準履修モデルを例示することで、学生の単位履修計画の主体性を高めているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、平成19年度卒業生のうち「教育系」学生の教員免許状取得は97.9%、「教養系」学生では54.5%であり、この数値は平成15年度との比較で顕著な伸びを示しているとともに、その他の資格においても取得数値は上昇しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、「学業の到達度や満足度」に関する調査を実施して学生の評価を計測しており、その評価が5段階評定の平均値で3点以上で、学年進行とともに評価が高くなっているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、平成 19 年度の「教育系」卒業者の 64.5% が教員になっており、この数値は平成 15 年度から上昇傾向にある。また、「教養系」卒業者の就職率は 73.7% であり、広い意味での教育関係職をはじめ、現代的な産業分野に就職しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「関係者からの評価」については、東京都区市教育委員会をはじめ、近隣の各縣市教育委員会のアンケート調査の結果、卒業生が教員として総合的にみておおむね優れているとの評価を得ているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は 4 件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。

教育学研究科

I	教育水準	教育 2-2
II	質の向上度	教育 2-4

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、平成 16 年度から平成 19 年度までに専攻の再編を行い、継続的に大学院の改革を進めているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、平成 16 年度からファカルティ・ディベロップメント委員会を設置し、毎年教員の研修会を実施し、「高度実践型教員養成」を推進しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、現行の研究科横断「現代教育実践の課題」と「教育実践論演習」を組み合わせているが、さらなる教員の力量向上を企図して、平成 20 年度からのカリキュラム改訂の整備を終え、「教育実践開発科目群」「教育実践研究法科目群」「教育内容基礎科目群」を編成することで積極的なカリキュラム改革を実施しているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、現職教員への対応として「1 年専念履修モデル」「1 年の短期履修コース」を設定し、「現職教員研修支援センター」を設置することで現職教員のニーズに応じて、さらに学部と大学院の有機的な連携を行う「新教員養成コース」の設置を決定し、また他大学との単位互換制度の整備を行っているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、各専攻の教育目的に即して講義と演習を組み合わせるとともに、研究科横断の「共通選択必修科目」を開設するとともに、指導教員による院生の学位論文作成指導において確実な指導が行われる仕組みを整備しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、学生情報トータルシステムを活用し、院生自らが成績確認をして、主体的な学習に取り組めるような整備がされているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、平成15年度修了者をベースにして、平成19年度には教員免許状取得率が9.6%の伸びを示している点で、教育学研究科の学力形成の充実度が向上しているとともに、院生の研究成果が学会賞を受賞するなど、研究能力の向上が見られ、相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、学生の「自由記述アンケート」では授業内容と研究活動についての多様な「成果」に対する満足度が高いなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、就職者数が平成19年度で63.3%で、数値は増加傾向にあり、修了者の多くが教員は基より、社会の教育的機能を支える広い意味での「教育」に関連する職種に就いており、教育学研究科の目的に即した進路選択がなされているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「関係者からの評価」については、教員として採用された当該大学院出身者について、東京都区市教育委員会及び近隣の各県市教育委員会にアンケート調査を行った結果、豊かな専門知識を生かした教育活動への取組が評価でき、また「本人も努力しているが指導力の更なる向上をのぞむ。」等の、さらなる期待を込めた建設的な提言もみられるなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は3件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。

連合学校教育学研究科

I	教育水準	教育 3-2
II	質の向上度	教育 3-4

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、東京学芸大学を基幹大学とする連合大学院として、平成19年度で専任教員1名と兼任教員275名によって構成され、各教員は9講座のいずれかに所属して院生の指導体制を組んでおり、院生数と教員数の比率からみても院生に対する十分な指導体制が取られているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、学生の研究実施計画書と指導教員の研究指導計画書を作成して指導方針を確認するとともに、指導教員以外の教員による複数指導体制をとり、合同ゼミナールを活用して研究科全体での指導体制を実施しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、3名の指導教員による指導体制が組まれることが明確に規定されており、教育科学関係の専攻及び教科教育関係の専攻の履修形態が明示され、各学問分野の期待に応え得る体系的な教育課程が編成されているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、合同ゼミナールを活用して学生の意見やニーズを聴取することで、研究条件や指導体制の具体的な改善を図るとともに、研究科修了者を対象にアンケート調査を実施し、改善に努めているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にあ

る」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、院生の研究状況に応じてフィールド研究や資料収集・調査を組み合わせ、院生のニーズに応える授業形態をとっているとともに、院生をリサーチアシスタント、ティーチングアシスタントとして採用し、院生の研究者・教育者としての資質向上を図っており、また指導教員に対して連合大学院の現状と課題についてのガイダンスを取り入れているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、平成16年度から博士の学位論文作成のために研究討論会を開催し、平成19年度からは院生の自主的な「連携研究」の意欲を向上させるプロジェクトを立ち上げるなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、平成17年度から平成19年度の実績として、学位取得者は57名であり、学位論文の内容は内外の出版物や学術雑誌に公表されており、高等教育機関への院生の就職もあるなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、「学業の到達度と満足度に関する調査」の結果、連合大学院の特徴を生かした指導を受け、「学業の成果」において有益であったという評価がなされているとともに、連合大学院の有効性をさらに高めるような「改善すべき点」についての積極的な指摘もなされているなどの相応な成果があることから、期待さ

れる水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、平成 17 年度から平成 19 年度の実績として国公立大学・研究所等に 8 名、私立大学に 16 名及び専門学校・高等学校等教育機関に 16 名が職を得ているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「関係者からの評価」については、「就職先アンケート」実施の結果、実践力と研究力に優れた熱心な教育者・研究者として評価されており、当該研究科の目的を達成しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は 3 件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。